

## 草津市文化財保存活用地域計画 策定方針

### 1. 策定の目的

本市には、史跡草津宿本陣をはじめとする国指定史跡や草津のサンヤレ踊りなどの無形民俗文化財のほか、数多くの文化財が保存・継承されています。

近年、文化財を取巻く環境は大きく変化しており、平成31年4月に文化財保護法が改正され、文化財を適切に保存・活用していくために計画期間や具体的な取組を定める文化財保存活用地域計画の策定が法定化されました。

こうした状況を受け、教育委員会では本市に所在する文化財を様々な行政分野・市民団体・地域住民等と協働しながら保存・活用に取り組んでいくために草津市文化財保存活用地域計画(以下「地域計画」という。)を策定します。

地域計画では平成30年度に策定した草津市歴史文化基本構想に基づき、構想の内容や草津市総合計画等の関連計画との整合を図りながら、文化財の保存・活用方法について具体的なアクションプラン等を定めます。

### 2. 策定方法

草津市文化財保護審議会に諮問し、審議いただいたうえで答申を受けます。

素案の作成に際しては、教育委員会が草津市文化財保存活用地域計画策定懇話会(以下「懇話会」という。)を設置し、文化財の保存・活用方法にかかる具体的なアクションプラン等について、意見聴取を行ったうえで事務局が行います。

### 3. 策定スケジュール

令和元年度	開催時期	内容
	第1回審議会 (令和元年5月30日)	計画策定について諮問
	第1回懇話会 (令和元年6月6日)	計画の概要と策定スケジュールの説明 策定方針の検討
	第2回懇話会 (令和元年7月下旬～8月上旬)	第1回目の意見や関係課との調整結果を説明 具体的な取組の方向性を検討
	第3回懇話会 (令和元年9月上旬～中旬)	計画全体の検討 これまでの意見交換の集約
	第2回審議会 (令和元年10月上旬)	第1回～第3回の懇話会の結果報告 教育委員会が作成した素案について審議
	第3回審議会 (令和元年12月上旬)	これまでの検討内容を受けた素案の提示 計画策定について答申

### 4. 懇話会委員

#### 懇話会委員（五十音順・敬称略）

氏名	勤務先・職業	懇話会担当部門
井上 ひろ美	華頂短期大学講師	美術工芸
岩崎 奈緒子	京都大学総合博物館教授	文献史学
岡田 俊二	遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議代表者	地域代表
北川 義洋	草津市観光物産協会	団体代表
金田 章裕	京都大学名誉教授・京都府立京都学・歴彩館館長	歴史地理学・景観
鈴木 久男	京都産業大学文化学部京都文化学科教授	史跡整備
柴田 弘三	矢倉学区未来のまち協議会代表者	地域代表
藤井 健史	立命館大学理工学部建築都市デザイン学科助教	建築学
安井 正一	人と地域が輝く常盤協議会代表者	地域代表
山本 理佳	立命館大学文学部教授	観光学